

打撃を與へ、大勝を博したと聲明したが、この聲明を裏切つて本年七、八月に入るや游撃隊の活動は活潑となり山東河北に於ては日本の追撃を避退し安徽江蘇省に於ても湖北、河南に於ても到る處活躍し、海南島に於てすら大衝突を行つて居るのである、日本軍は支那游撃隊討伐には傀儡政府軍を利用して居る、處がこの軍隊が支那軍若しくは游撃隊に投降して居り、ノース、チャイナ、デリー、ニューズに依れば一九四〇年に入つてからの投降者数は十五萬人に達して居るとの事である、游撃隊の區域に於ては統治に大いにデモクラシイ化が行はれて居り、猛烈なる軍事攻撃も行はれ文盲根絶には多大の關心が拂はれて居り各種の新聞、雑誌、新刊書が発行されて居る、住民は游撃隊に對しては全幅の支持と愛好を示して居る有様であつて、更に協力して日本軍に當つてさへ居るのである、游撃隊が人民戦と云はれるのは此の故であつて、游撃隊の強い所以も此處にあるのである、云々、

本日の新聞論調 (第六百二十一號) 内閣情報部 五九二九(木)

内 容 目 次

△新體制問題

一、大政翼賛會に望む (日日)

一、治者と被治者 (國民)

一、新體制と對外國論の歸趨 (中外)

一、國難の克服 (都)

△豫算折衝の新工夫 (報知)

△抗戦力低下と赤化 (朝日)

X X X

△新體制問題

一、大政翼賛會に望む (日日)

大政翼賛會の結成に當り我等は二三の希望を述べて新體制運動の健全なる成長を期待する新體制首脳部の人選は極めて重大であつて、一次的に本運動の成否を決するものといふも過言ではない。首脳部の銓衡は總裁たる近衛公の意を體して政府と一體となつて挺身し

うるさころの清新にして潑刺たる各界の人材をもつて中央本部を埋むべきである。また内外の客観情勢に照して一日も早く中央本部の陣容を整へ地方組織を完了して大政翼賛運動が全面的に実践の過程へ突入せんことを希求してやまぬ。而して先づ第一に實行さるべきは新體制運動を國民一般に徹底的に理解せしめることである。新體制運動とは何ぞやといふことは一應國民一般に普及してゐるが、世には其眞意を未だ理解せず過大の期待をかけるもの、見當違ひの危懼を抱くものが決して少なくない。一日も早く大政翼賛運動の本質を知らしめる爲全國的に新體制の宣傳普及が展開されねばならぬ。

一、治者と被治者（國民）

大政を翼賛する立場と限界とに於て萬民それぞれの相違がある。それを國民各層の各職域とが、萬民各々の職分と云ふ言葉で、百把一束に取扱つては、治者、被治者の別が混錯して下ふ。この分限喪失は君臣一體を臣下として強調する時に於て重大なる禍因を孕むことになる。翼賛が被治者の立場に於てするの治者で在します。上御一人の御委任を受け文武官として聖旨を奉戴し奉體奉行するものはその職分に於ても、大政翼賛の奉行する↓

限度に於ても容續的差がある。新體制が單なる被治者としての萬民輔翼體であるのか、官も民も無差別の萬民輔翼の體制なのか、それによつて日本の國體上許容される所と然らざる處とハッキリしてくる。軍官民一心一體といふことは、萬民の意に於て、國民の意に於て、臣下の意に於て考へられることであるが、軍と官とは上御一人御委任の有司有職で治者の備に立つものである。しかし單なる被治者の地位にある一般國民が更に國民の間に指導的階級を構築し、上御一人の御委任もなき治者層被治者層的分限分界を作り上げるといふことになればその被治者層である大衆の萬民輔翼の意義限界はどうなるか。第一被治者であるところの國民そのものの分限といふことが大きな矛盾として残されることになる。首相が最後の裁断に當り善断を誤らないことを望む。

一、新體制と對外國論の歸趨（中外）

新體制最終準備委員會で首相は「刻下我國の直面せる所謂超重大性」を示唆し是に對する決意を大膽率直に披瀝したが、我國が今次事變の處理完遂、更に東亞新秩序の建設、南洋を包含する共榮圈の創建等いまや世界新秩序に指導的役割を演ぜんとする時、所謂事態の重大化は當然覺悟すべきで寧ろ驚くべき事はない。一方對外國係に於ては對内的に我國論の赴く所を見るに或は親英米派、或は親獨派と恰も分派的に對立してゐるが如く思はしむるが、國內が他邦依存の分派に由つて抗爭するが如きは弱少國の爲す所で、國家の各層

の爲にも我國には親英米派も親獨伊派もない事を明言するに憚らない。外交には他主なく絶對に自主であるから友邦に對しては飽くまで善隣の誼を竭するに遠慮しないが、一度敵性を露はし來るならば之を討つに寸毫の假借なきは言ふまでもない。我國昨今の對外凶論に對して斯く感ぜざるを得ない。

一、國難の克服（都）

近衛公が新體制準備委員會を終るに當つて、最も沈痛なる語氣を以て國難を克服する爲には、一位一心の協力が殊に必要なる旨を切言して滿場を感動せしめたるは公自身國を憂ふるの情切なるを表すと共に現下の情勢を最も眞剣に呈せざる者であらう。國民はよく現實を認識して眞に一死奉公を誓ふべきである。國民に一位一心一絡邁進の覚悟あるも上に立つ者にして其心なく或は是もあるも其方向を過まるに於ては、遂には國民の信賴を失し上下一致の體制を容する事なしとは言へない。國民に對して無條件信賴を働かせると共に政府及指導者に對しては一層の戒心を要求する。殊に新體制を笠に着て實は官僚獨善、指導者專横の弊を生ぜんか、其結果の甚だ面白からざるはいふ迄もない。今日改革といひ取締といふ者の中に既に此弊ありとせば頗る憂ふべきである。所謂無用の干渉行き過ぎの取締に注意せよ。國民を悅服せしむるが最も必要である。

△豫算折衝の新工夫（閣議中心主義を採れ）（報知）

昨年迄の大蔵主計當局が採り來つた豫算査定方法は我國財政の規模が一般特別兩會計を合せ六、七十億圓程度の時代を踏襲せるものであつて是が百億豫算の査定に不適なるは當然である。先づ其缺陷も云ふべき點は漫然と各省經理當局から新規豫算の提出を求め是を大蔵主計當局の手許に集計し査定する仕組であるが今日の如く國勢が複雑化しては大蔵當局といへども各省の要求に對して大上段の斧鉞を加へる丈の見識を持つ事は困難である。其爲か蔵相は一部重要豫算の折衝は大蔵相互の話し合によつて是を査定する新方法を試みる意向の由であるが其着想に賛成するものである。唯其際最も必要なるは大蔵大臣並に企畫院總裁の豫算査定に關する發言は絶對に尊重されねばならぬ事である。即ち國策の大體を決して眞に國家の總力を發揮せしめる爲の綜合豫算を編成し所謂重點主義を貫徹するためには區々たる事務當局の折衝を重用することなく國務大臣相互の間で極めて大乗的に豫算を編成する風を養ふことが急務である。

△抗戰低下と赤化（朝日）

蔣は昆明に軍事會議を開いた結果日本軍の行動を豫測して佛印國境方面に二十萬の兵力を集結した。愈々死地に轉落しつつある蔣政權の狼狽振りが想像されると同時に、國共關係の推移が注目される。國共調整は再三の努力にも拘らず結局物にならず九月以來の我軍

の晋北、江北の作戦の結果共産軍は大打撃を蒙り、國共對立を遺憾なく暴露した。共産本隊の潰滅的打撃を蒙つたのと同時に江南、江北に暗躍した共産軍新編第四軍も本月初め我軍のため従来見ざる創傷を蒙るに至つた。重慶を見捨てざるを得ざる最近の成行に於て中央軍も共産軍も、我軍のため一層徹底的に抵抗力を弱体化されることとなつた。のみならず國共間の内訌が益々深刻となつたことは更に抗戦力を弱体化させてゐる。しかし蔣政権は前線抗日の一念に燃えつゝ、徳門狼を退めて益々赤化を導入し恐るべき不拔の培養に拍車をかけつつあるは笑止千萬である。

△其他—(略)—「不朽の御功績を讃へて」(國民) 「帝都の防空・物價調節令」(都)

外國宣傳情報第一號

内閣情報部九・二〇

—重慶日本語放送(十九日)— (東京都市逓信局聴取)

一、昨九月十八日は日本軍閥が滿洲事變を發生して九年目の記念日である蔣委員長は東北同胞全國民に對し大體次の様な激勵の辭を送つたのである。

全國の同胞諸君、本日は日本軍閥が滿洲を侵略した九・一八記念日である、顧みて我中國が莫大な犠牲を拂つてから九年を経た。傀儡政權の下に於ては生命財産の保障なく生活行動の自由さへ奪はれて掠奪を專にして我東北同胞の一舉手一投足は日本の監視を受け、制限を被つて居るのである、滿洲の行政官はその數五千四百名その中三千三百人は日本人で傀儡權力は全く日本に掌握されて居るのである。

我同胞は東北に於ける同胞の苦難を憐れるのであるが三ヶ年に亘る抗戦の目的は我中國の獨立と自由のためであつて全く三千四百萬の東北同胞の救助のためであるのである、武器を持つて起ち敵を殺して國に盡し全力を傾けて敵を驅逐し以て租國を擁護するに在るのである、東北の我同胞は悉く武器を沒收され武器なき反抗は敵の死命を制することは出来ない、現在敵の燃疑は日日の破壊を行つて居るが我々は凡ゆる犠牲を惜まず民族、國家の獨立と自由の爲めに闘つて居るのである、日本は東亞新秩序を唱へ全四億の同胞を東北の同胞と